

原子力災害時の円滑な住民避難に向けた検討会の設置について

1 目的

平成28年11月に福島県沿岸部で震度5弱の地震が発生し、住民の避難車両等による渋滞が確認された。自家用車避難を原則としている原子力災害時（複合災害を含む。以下同じ）には、更なる渋滞が発生することが想定されることから、11月の状況を教訓としつつ、原子力災害時の円滑な住民避難の障害となる課題を整理し、解決に向けた検討を進めるため、関係機関が一堂に集まる「原子力災害時における避難に伴う渋滞対策検討会」を設置する。

2 検討対象地域

原子力災害対策重点区域の13市町村

3 検討の基本的方向性

ソフト的課題と道路整備等のハード的課題のうち、本検討会では比較的短期間で実施が可能なソフト的課題を中心に当面検討するものとする。

なお、本検討会（4回程度想定）での議論の進捗状況により、広域避難計画に反映するなど、早期に実施可能なものについては順次着手していくものとする。